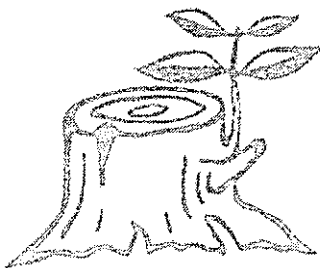


平成 30 年度 事業報告書



平成 31 年 5 月 25 日
社会福祉法人 唐池学園

目 次

社会福祉法人 唐池学園	．．．．．	P 1
児童養護施設 唐池学園	．．．．．	P 7
児童養護施設 強羅暁の星園	．．．．．	P 13
乳児院 ドルカスベビーホーム	．．．．．	P 19
保育所 吉岡保育園	．．．．．	P 25
保育所 つぼみ保育園	．．．．．	P 31
障害者支援施設 貴志園	．．．．．	P 39

事業報告書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

社会福祉法人 唐池学園

○ 全体の総括

平成 30 年度に強化する取り組みとして位置付けた 6 つの項目については、5 つについて目標を達成した。残る 1 つについては平成 29 年度からの継続課題であるが、国の児童養護施設に対する方針（社会的養育ビジョン）が大きく変わったことを受け、計画の策定を次年度以降に見送ることとした。

総じて、平成 30 年度の計画に位置付けた事項については概ね達成することができた。

また、法人にとってこれまでの大きな課題であった「定款の基本財産の是正」と「基本財産担保承認申請」について、6 月に申請し 12 月に認可が得られ、長年の課題が 1 つ解決した。

その他の大きな事案として、10 月にドルカスベビーホームで幼児の死亡案件が発生したことを受け、死亡等の重大事故の再発防止のための事後的検証委員会設置要綱を 11 月の理事会で制定したうえ委員の任命も行ない、2 月に委員会を開催して事案を検証し、改善策を報告書にまとめた。

○ 取り組みの結果

No.	項目	進捗状況	達成度	備考
1	中長期的な事業運営及び施設整備計画の策定	今年度は方針説明のみ。 来年度、各施設のヒアリングを実施予定	△	*児童養護施設の整備時期再検討のため
2	会報「雑品倉庫」の発行	H30.7 発行	◎	2,000 部
3	財務規律の強化	・会計研修を開催 ・経理規程勉強会を実施	○	
4	規程、規則、要領等の整備	・各施設の規則の見直し ・一部就業規則の改正	○	*事務担当者会議で各施設の就業規則の確認を行った。
5	法人全体の横断的な連携の強化	・施設間職員交流会 2 回 ・児童養護施設職員による共同視察の実施 ・貴志園の研修に唐池学園の職員が参加 他	◎	施設間交流会開催の効果が見られた。
6	法人全体の人材育成の強化	・新任職員研修 2 回 ・中級職員研修 1 回 ・会計担当者研修 1 回 ・事務担当者研修 4 回	◎	計画どおり開催。中級職員研修は、研修委員が対応した。

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取り組みの結果

計画した研修を予定どおり実施でき、その内容も充実したものであった。

その他、法人本部として、社会福祉法改正に係る研修や講座に計 6 回参加し、見識を深め、事務事業の遂行に反映させた。

2 研修実績報告

実施時期	実施内容	対象職員
4月23日(月) ～24日(火)	新任職員宿泊研修(箱根)	H30 新規採用職員 13名
7月20日(金)	会計研修「平成29年度決算で見た課題 と今後の改善点」	経理担当者10名
7月20日(金) 9月18日(火) 10月23日(火) 11月27日(火)	経理規程の勉強会実施 ※事務担当者会議の中で、経理規程に対する理解 を深める研修を計4回に渡って実施した。	経理担当者10名
9月11日(火)	中級職員研修 (県社会福祉会館)	採用(経験)5年～10 年の職員 9名
11月2日(金)	新任職員アフターフォロー研修 (県社会福祉会館)	H30 新規採用職員 13名
1月24日(水)	会計(予算編成)研修	経理担当者12名

○ 年間行事等報告

1 会議等

実施月日	名称等	内容等
4月18日	第三者委員会	第三者委員(主任児童委員)3名
5月18日 22日	監事監査	柏倉監事(事業報告等の業務全般) 長井監事(計算書類等の会計全般)
5月26日	第1回理事会	【決議事項】 ① H29 事業報告 ② H29 収支決算 <監事監査報告> ③ 新理事1名の選任候補者の提案 ④ 保育所の就業規則の変更 ⑤ 貴志園の自立生活援助事業の新規申請 ⑥ 定時評議員会の招集 ⑦ 役員等の報酬額・報酬規程 ⑧ 貴志園の運営規程の変更 【報告事項】 (1) 理事長の職務の執行状況
6月18日	定時評議員会	【報告事項】 (1) H29 事業報告 【決議事項】 ① H29 計算書類・財産目録の承認 ② 新理事1名の選任 ③ 役員等の報酬額・報酬規程の承認

実施月日	名称等	内 容 等
9月14日提案 9月19日同意	理事会 (決議の省略)	【提案事項】 ① H30 第1次収支補正予算 ② コペルタ貴志園 指定就労定着支援事業所運営規程の制定 ③ 貴志園 指定共同生活援助事業所(第二椿地蔵ホーム) 運営規程の一部変更 ④ 評議員会の決議の省略
9月20日提案 9月25日同意	評議員会 (決議の省略)	【提案事項】 ① H30 第1次収支補正予算
11月16日	第2回理事会	【決議事項】 ① 県指導監査指摘事項の改善報告 ② 就業規則の一部変更 ③ 経理規程の一部変更 ④ 貴志園運営規程の一部変更 ⑤ 重大事故の再発防止のための事後的検証委員会設置要綱の制定 ⑥ 貴志園のグループホーム移転に係る施設整備事業計画 ⑦ 貴志園のグループホーム移転に係る土地購入 ⑧ 貴志園の駐車場確保のための土地購入 ⑨ H30 第2次収支補正予算 ⑩ つばみ保育園の運営に関する件 ⑪ 評議員会の招集 【報告事項】 (1) 理事長の職務の執行状況
11月30日	第2回評議員会	【決議事項】 ① H30 第2次収支補正予算 ② 貴志園のグループホーム移転に係る施設整備事業計画 ③ 貴志園のグループホーム移転に係る土地購入 ④ 貴志園の駐車場確保のための土地購入 【報告事項】 (1) ドルカスベビーホームにおける男児の死亡に関する件 (2) その他 ・ 理事長の職務の執行状況
2月19日	重大事故の再発防止のための事後的検証委員会	検証委員6名 ・ 関係者からのヒアリング ・ 問題点及び課題の抽出・整理 ・ 再発防止のための改善策の提言

実施月日	名称等	内容等
3月8日	第3回理事会	<p>【決議事項】</p> <p>① H30 第3次収支補正予算</p> <p>② H31 事業計画</p> <p>③ H31 収支予算</p> <p>④ 就業規則の変更</p> <p>⑤ 貴志園のグループホーム建設に係る入札</p> <p>【報告事項】</p> <p>(1) 県指導監査の結果（つぼみ保育園）</p> <p>(2) ドルカスベビーホームにおける幼児死亡案件の再発防止のための事後的検証委員会の結果</p> <p>(3) つぼみ保育園の園運営に対する法人介入の状況</p>
3月26日	第4回理事会	<p>【決議事項】</p> <p>① 「めくじりホーム」新築工事請負契約の締結</p>

2 指導監査

実施月日	施設名称等	内容等
7月11日	強羅暁の星園	指摘事項なし
7月12日	唐池学園	現地での口頭指摘1件（改善済）
	ドルカスベビーホーム	文書指摘1件（県に改善報告）
	法人	文書指摘1件（同上） 現地での口頭指摘1件（改善済）
9月20日	吉岡保育園	現地での口頭指摘1件（改善済）
	つぼみ保育園	現地での口頭指摘2件（改善済）

3 委員会

実施月日	名称等	内容等
6月5日	広報・研修委員会 (H30 第1回)	<p>① 会報「雑品倉庫」の構成等（最終）</p> <p>② 法人研修</p> <p>③ 施設間交流会</p>
7月24日	広報・研修委員会 (H30 第2回)	<p>① 会報「雑品倉庫」配布</p> <p>② 法人研修（中級研修）</p> <p>③ 施設間交流会（法人暑気払い）</p>
8月21日	広報・研修委員会 (H30 第3回)	① 中級職員研修の内容及び役割等
2月15日	広報・研修委員会 (H30 第4回)	<p>① 会報「雑品倉庫」の構成等</p> <p>② 法人研修</p> <p>③ 施設間交流会</p>

4 その他

実施月日	名称等	内容等
4月2日	辞令交付式	新任職員15名、他3名
8月21日	施設間職員 交流促進会 (暑気払い)	参加者39名(本部:2名、唐池:6名、 強羅:4名、ドルカス:4名、つぼみ:1名、 吉岡:6名、貴志園:16名)
1月19日	施設間職員 交流促進会 (新年会)	参加者39名(本部:2名、唐池:9名、 強羅:3名、ドルカス:6名、つぼみ:7名、 吉岡:4名、貴志園:8名)
通年	法人運営会議 (施設長会)	実施月:4/24, 6/12, 7/27, 9/14, 11/2, 1/17, 3/1(計7回)
通年	事務担当者会議	実施月:4/16, 5/21, 7/20, 9/18, 10/23, 11/27, 1/21, 2/26,(計8回)

事業報告書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

児童養護施設 唐池学園

○ 全体の総括

本園定員が 54 名から 45 名と減少となったが小規模グループケアが 2 か所から 6 か所の認定を受けられた。しかし増員分の職員の確保ができないままであり、また栄養士や調理非常勤の補充も叶わず、ケース非常勤がカバーに入って凌いでいる状態である。今後も人材確保は大きな課題である。

そんな中、前年度末から職員の子どもへの行き過ぎた指導や不適切な関わりが複数起きたことは、思春期や課題を持った子どもについて改めて理解と支援の工夫を学ぶ姿勢を持つ必要を感じている。また職員同士が不安や危惧を抱えたまま表に出せなかったこともあり、互いに気づいたらすぐに指摘し合い、助け合うことを確認している。

子どもたちにはそれぞれに自信や意欲に繋がるよう習い事や部活動を奨励しているが、ゲームやスマホの依存や影響は大きく、使い方の指導や制限だけでは追い付かない現状がある。高校生のスマホによる人間関係のトラブルや不登校、異性問題の発生などがあった。

また多くの子どもは将来、福祉的な支援や見守りが必要と予想され、早い段階から利用可能なサービスを多方面に渡って探っている。

○ 取り組みの結果

1 子どもへの支援

(1) 安全、安心な生活の保障

イ 行き過ぎや不適切な関わりについては緊急の会議で話し合いを持った。子どもへの聞き取りや謝罪、他児への説明もできるだけ速やかに行った。

ロ 部屋により身の周りへの配慮に差が見られ、フリー職員等が取り組みを促した。

ロ 職員全体で子どもの見守りを継続しているが、小学校高学年から中学生がかってして暴力に出ることが目立った。土日にはアルバイトを配置し目を配った。

(2) 概ね学校中心の生活を送っているが、スマホにより生活が乱れた高校生が出た。

(3) 年度末に中学生の性的問題が発生、改めて具体的な性教育の必要性を感じる。

(4) 高 2 女子に別棟にて一人ぐらいを体験させた。また福祉利用については利用可能なサービスを調べるなど、早めの取り組みを行っている。

(5) 数ケース具体的に家族整理や生い立ちの説明を実施したが、今後も繰り返して行うことが大切である。

2 親・家族との関わり

(1) 職員の子どもへの対応について保護者から苦情、意見が 2 件あった。保護者とのやりとりだけでなく、日々子どもとどのように関わっているか振り返る必要を感じた。

(2) 生い立ちの話しに保護者も参加したケースもある。情報収集等協力してもらえた。

(3) 保護者が子どもの課題を飲み込むのは難しい。今後も繰り返し理解を求めたい。

3 地域や他機関等への支援、及び連携

(1) 子育て支援の社会資源としての役割

ア 吉岡自治会、地区社協、健全育成会、子ども会の主な役員として活動。

イ 施設長や里親支援専門相談員が厚木所管や県の里親活動を支援。

ウ 今回も唐池祭が中止となりボランティアの来園の場が少なく残念だった。

(2) 関係機関との連携、協力

- ア 児相と子どもや問題の対応に差異を感じる事が何度かあった。丁寧な話し合いを重ねて意思疎通を図っていききたい。
- イ 幼稚園や学校とは個々に情報交換を行っている。また不登校の高校生については担任とこまめに連絡を取り合い、学校とも話し合いを持った。
- ウ 貴志園の放課後デイの見学を実施、またドルカスとは共催研修を計画した。
- エ 吉岡工業会役員が中高生会議に毎回参加協力してくれている。

4 職員の資質の向上

- (1) ・不適切な関わりがあり、改めて子どもの理解や課題への工夫に関して月1回の研修を行うことにした。
 - ・子どもに対して、すべき、させる、という気持ちを持たないように話し合っている。
 - ・発達の課題や関わりづらさのある子どものミニカンファを入れるようにしている。

○ 職員構成

平成31年3月31日現在

	施設長	FSW	里親支援 専門相談 員	職業 指導員	保育士 指導員	心理士	事務	栄養士	調理員	合計
常勤	1	2	1	1	23	1	1	1		31
非常勤					9	1			4	14

○ 定員等

平成31年3月31日現在

区分	本園	GH よんの家	GH なの家				合計
定員	45	6	6				57
暫定							
現員	40	6	6				52

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 新任職員の育成

- ア 対象が2名のみだったため予定のオリエンテーションは実施できた。
- イ 1, 2年目職員とペアの職員同士が育成について定期的に意見交換の場を持った。

(2) 職員全体の向上

- ア ケース会議後に部屋の話合いの時間を設定したが会議が伸びて実施できなかった。
- イ 係や委員会の中で他の職員との交流が持てた。

(3) 子どもの人権への意識の向上

- ア 子どもの特性を忘れ感情的な関わり方になりやすいことを自覚することが必要。
- イ 園内心理による子どもの特性の理解を深める月1回ペースの学習会を開始した。

(4) 支援の振り返り

- ア ケース会議の中で具体的な支援の方法を探る話し合いを持つようにした
- イ その都度対応を確認し、一人で対応せず周囲が意識して協力するようにしている。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/12・20	新任職員オリエンテーション	松川、南部
7/4 9/12 3/5	建替えに向けての園内研修 講師 伊豆氏 講師 早川氏 講師 石垣氏	ケース職員等
7/24	中高生会議合同インターネットネット研修	中高生・ケース職員等
9/19	権利擁護について（講師法人田中理事）	全職員
11/21	ドルカス BH との共催研修会 里親体験談	加園、松尾、鈴木
3/13	磯ヶ谷園内心理士による研修「発達障害」	ケース職員
7/2	他施設見学 子どもの園	安部、中里、門馬 佐藤航
9/5	はぐくみの杜	安部、勝又、原瀬、 葛屋、松尾、川崎優、
9/18 9/20	生長の家神の国寮 かなで	安部 安部、南部、齋藤 磯ヶ谷、中里
10/5 10/15	日本児童育成園 白山愛児園	安部、 安部、黒川、白井、 佐藤航
11/27	筑波愛児園・道心園	安部、小堀、竹林 川崎昭、佐藤瑞
1/28 1/29 2/ 2/22	生長の家ショートステイ 白十字会林間学校ショートステイ 聖園子供の家ショートステイ SOS 子どもの村	安部 安部、磯ヶ谷 安部 安部、川崎優、竹林
3/	旭児童ホーム児童家庭センター	後藤、桑原、葛屋 安部
7/20～21	施設間交流研修 強羅暁の星園 法人内他施設見学 貴志園放課後デイ	葛屋 田中、後藤

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/23～24 11/2	法人主催 新任職員研修 フォローアップ研修	松川、南部、鶴飼、 加園
9/11	中堅職員研修	齋藤、大西、鶴飼
4/27 6/28 11/20 2/21～22	神奈川県児童福祉施設職員研究会 性教育研修 新任研修 2, 3 年目職員フォローアップ研修 宿泊研修	桑原 松川、南部 後藤、佐藤瑞 黒沢

実施月日	実施内容	受講職員
5/19 6/29～30 9/7 10/12 2/15	養護問題研究会 東京支部学習会 全国大会 神奈川支部学習会 東京支部学習会 神奈川支部学習会	中里 安部、佐藤航、勝又 安部、中里、佐藤航 勝又、葛屋 安部 安部、佐藤航、勝又
5/12	子どもセンターてんぽシンポジウム	葛屋
5/21 -7/2 全5回	藤沢市連続講座 自閉症スペクトラム	望月
6/15	白十字会林間学校 性教育情報交換会	川崎優
6/18	安全運転管理者講習	黒沢
7/6	国立きぬ川学院 性的虐待等専門研修	中里
10/5	アレルギー研修	勝又
10/9	県中堅職員研修	原瀬、磯ヶ谷、小堀 風間、松尾、加園
12/7	性教協全国秋季セミナー	川崎優
12/21	児童福祉法研究会研修	安部
1/10・25	基幹的職員研修	黒沢、中里
1/13	明治学院大学実習施設研究交流会	田中
1/23	ファミリーソーシャルワーカー研修	菊池
2/4	市健全育成会研修	本多
2/4～5	関プロ事務研修	大西、鶴飼
5/10 10/12 10/15 11/2	厚木保健福祉事務所大和センター研修 " " 調理従業者 アレルギー調理研修	光山 白井、佐藤瑞 萱嶋 兵頭、萱嶋
5/19 5/30 7/8 7/15 9/15 10/14 10/22 11/8 2/24 11/17～18 2/15 3/2	家庭養育支援センター・ひこばえ里親研修 ひこばえ主催里親支援者研修 関東甲信越静里親協議会研修 家庭養育支援センターひこばえ3日里親研修 家庭養育支援センター・ひこばえ里親研修 県里親会 大会 家庭養育支援センター・ひこばえ里親研修 " " 全国里親会 金沢大会 ひこばえ主催里親支援専門相談員研修 SOS子どもの村主催 里親支援研修	鶴飼、加園 加園 鶴飼、加園 田中、勝又、佐藤瑞 加園 原瀬、加園 鶴飼、加園、安部、 原瀬、 加園 " " " 鶴飼、加園 加園 "
8/23 11/26 3/2	あすなる児童研修 県主催自立サポート研修 あすなる児童研修	原瀬、中高生希望者 原瀬 原瀬、中高生希望者

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	5日 中1入学式 6日 小1入学式 入学・進級祝う会食 21日 実習生オリエンテーション	2日 法人辞令交付式 18日 法人第三者委員会
5	4日 自治会主催小学生レク 6日 保護者会・子どもの日青空F 16日 職員歓迎会 23日 城中との連絡会 24～25日 第1班職員旅行 27日 卒園生の集い 職員健康診断	6日 地域清掃 20日 吉岡地区社協祭り 26日 法人理事会
6	13日 城中支援級先生との話し合い 21～22日 第2班職員旅行	10日 施設卓球大会 ゲームウオーク 18日 法人評議員会 24日 吉岡3区バーベキュー
7	5～6日 第3班職員旅行 12日 県監査 21日～夏休み 24日 綾西小との連絡会 自治会主催中高生ボーリング大会 29～30 心理主催キャンプ 31日 小1,2レク 児童健康診断(～8月)	29日 吉岡地区盆踊り
8	8日 中学生レク 12日 バーベキューと花火 16日 綾瀬市主任児童委員来園 24日 小3,4レク 26日 夜間避難訓練	2～3日 子ども会キャンプ 21日 法人懇親会 22日 本丸亭協力店招待 24日 県央地区里親懇親会
9	3日 炊き出し訓練 23日 中学校体育祭 29日 小学校運動会	
10	13日 すぎの子幼稚園運動会 28日 園内ミニ唐池祭(唐池祭中止の為)	7日 吉岡地区レク大会 14日 県里親会大会(綾瀬市文化会館)
11	15日 県保健師研修(会場提供) 15～16日 第4班職員旅行	4日 健全育成会ハロインパーティー 30日 法人評議員会
12	2日 いすゞ労連車輛贈呈式 8・16日 大掃除 12・16日 職員忘年会 22日～冬休み 24日 クリスマス会 28日 餅つき	1日 子ども会クリスマス会
1	1日 元旦祝賀会 12日 近隣ボラとの新年会	12日 施設送別マラソン大会 19日 法人新年会
2		
3	高3卒業式 11日 中3卒業式 13日 職員送別会 24日 幼稚園卒園式 20日 小6卒業式 卒業生を祝う会 25日 本丸亭協力店による昼食イベント 29日 ドルカスとの合同避難訓練	8日 法人理事会

事業報告書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

児童養護施設 強羅暁の星園

○ 全体の総括

国からは小規模化し家庭的養護が求められている昨今だが、福祉司からは「小規模化が進むにつれ、兄弟まとめて受入れが出来る施設が少なくなってきた」「経験不足の子ども達にはより多くの優しい大人との触れ合いや刺激が必要」との声があり、年間通して年齢を問わず、入所依頼は多かった。またその入所してきた子ども達も園での生活について、半数以上が「皆がいてくれるから楽しい」と回答している。老朽化が進み、推進計画に準じて建て替えを迫られているのは事実だが、現場のニーズにきちんと耳を傾ける令和の時代が訪れることを願うばかりである。

○ 取り組みの結果

1. 建て替えプロジェクトチームの立ち上げと始動

有志メンバーで建て替えプロジェクトチームを発足。同時期に建て替えとなる唐池学園と協働し、施設見学や工程について話し合いの場を持った。施設見学については千葉 2 施設、東京 3 施設、神奈川 3 施設を訪問し、建て替えについての様々なアドバイスを聴取した。建て替えの工程については概ね、東京オリンピック終了後に本部の唐池学園から取り掛かり、順次行うことを法人本部とも確認していたが、大阪万博開催の決定や 30 年 11 月に厚労省から「都道府県社会的養育推進計画の策定に向けた作業スケジュール等について」の中で、施設の高機能化及び多機能化・機能転換が新たに求められたことにより、方針の変更を余儀なくされている。

2. 直接処遇職員の業務内容の見直しと改善

- ・ ここ数年児童の対応に追われることが多く、事務業が疎かになることがあり育成記録等、情報共有を図る上で困難が生じることが多かった。今年度は試験的に夜の児童就寝後の時間以外にも、日中に会議や通所等職員の動きが少ない日に順次「事務勤」する時間を設けた所、改善が見られ職員からも好評だった。
- ・ 自立支援計画策定は全児童、半期ごとに福祉司とカンファレンスを重ね目標の達成に向け取り組みを行ってきたが、複数ケース入所している福祉司との日程の調整が難しく勤務にも支障をきたすことがあった。今年度は上半期に立てた目標の達成が難しくなっているケースのみ福祉司とカンファレンスを実施し、それ以外については電話や口頭での確認に留め業務の効率化を図った。
- ・ PDCA サイクルを意識的に取り入れ、定例会議の最初には必ず前回会議の振り返りと評価を実施し、職員の早期問題改善と意欲向上を図った。

3. 看護師の募集・配置

- ・ 年間を通して求人はホームページやハローワーク、各学校へ出していたものの、問い合わせすらなく、配置には至っていない。年度途中から派遣会社とも提携し、引き続き人材確保に努めていく予定。今年度も整形外科や皮膚科への通院等が多く、職員の負担が深刻化している。

職員構成

平成 31 年 3 月 31 日現在

職種	園長	統括主任	事務員	指導員 保育士	家庭支援 専門相談 員	里親支援 専門相談 員	個別対応 職員
常勤	1	1	1	14	1	1	1
非常勤	0	0	1	0	0	0	0
職種	職業 指導員	栄養士兼 調理員	調理員	心理士	嘱託医	合計	総数
常勤	1	2	1	0	0	24	30
非常勤	0	0	3	1	1	6	

○ 定員等

定員 50 名（神奈川県 47 名 相模原市 3 名）現員 46 名

平成 30 年 3 月 31 日現在

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男	2	0	3	0	0	1	2	2	4	2	2	2	1	1	0	22
女	4	1	2	1	1	1	2	2	1	2	1	0	1	3	2	24
計	6	1	5	1	1	2	4	4	5	4	3	2	2	4	2	46

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

小田原児童相談所や西湘地区の児童福祉施設と協働で取り組んだ、西湘地区管内研修会のおかげで、遠方に1日かけて出張し、研修会に参加しなければならなかった、立地的な課題を解消し、下記の通り数多くの研修会に職員を送り出すことが出来た。経験が少ない職員にとっては、日頃の業務を見直すだけでなく、近隣の他施設職員とも交流の出来る良い機会になったように見受けられる。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
6月27日	エリザベスサンダースホーム訪問 研修	直接処遇 14名
7月2日	普通救命講習	直接処遇 5名
9月5日	千葉県 「はぐくみの杜 訪問研修」	直接処遇 3名
9月6日	千葉県 「みらい響の杜 訪問研修」	直接処遇 3名
9月19日	CAP研修「暴力防止プログラム」	直接処遇 8名
9月18日	生長の家 神の国寮訪問研修	園長, 直接処遇 5名
11月28日	神奈川県 「手まり学園 訪問研修」	直接処遇 6名

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4月23~24日	法人内研修「平成30年度 新任職員宿泊新任研修会」	園長, 統括, 新任 3名
4月27日	神児研研修 「性教育研修」	直接処遇 1名
5月15日	神児研乳児部研修「救急法・AEDの使い方」	直接処遇 1名
5月19日	里親体験談	里専 1名, 直接処遇 1名
5月30日	里親センター主催研修「テリング」という営み	里専 1名
6月11日	西湘管内研修 「子どもの権利擁護と人権侵害の防止」	直接処遇 2名
6月14日	神奈川県中央児童相談所主催 「児童相談所における性的虐待対応ガイドライン」	主任 1名

実施月日	実施内容	受講職員
6月16日	白十字会林間学校主催 「性教育情報交換会」	直接処遇4名
6月21日	養問研研修「黒田塾フォローアップ研修」	統括1名
6月29日	西湘管内研修 「児童相談所の支援の流れ」	直接処遇2名
6月27日	神児研研修 「神児研 新任研修会」	直接処遇2名
7月3日	神児研特別研修「神児研野外活動事前研修会」	直接処遇3名
7月6日	管内研修「児童相談所の流れ」	直接処遇1名
7月12～13日	神児研特別研修「第57回神児研野外活動研修会」	直接処遇3名
7月19日	神児研研修 「中堅職員研修」	主任1名
7月19日	公文教材基礎講座 in 品川	直接処遇1名
9月4日	神児研研修 「新日本学園実践報告」	直接処遇1名
9月11日	神奈川あすなろサポーター研修会 はまかぜ見学	職業指導員1名
9月11日	法人内研修 「中堅職員研修」	統括, 直接処遇2名
9月13日	児童福祉施設協議会主催 「栄養士研修会」	栄養士1名
9月20日	西湘管内研修会「準備のいかない事例検討会」	直接処遇2名
10月5日	第1回 乳幼児のアレルギー疾患と対応	直接処遇1名
10月9～10日	児童福祉施設協議会主催「中堅職員研修」 「中堅職員研修会、中堅職員・チームリーダー専門研修会」	直接処遇2名
10月12日	西湘管内研修「ゆりかご園 施設訪問研修」	直接処遇2名
10月12日	第2回 乳幼児のアレルギー疾患と対応	直接処遇1名
10月17～19日	全国児童養護施設長研究協議会研修	園長
10月24日	養子縁組に関する研修会	里専1名
11月2日	児童福祉施設協議会主催「調理関係者研修会」	栄養士1名
11月2日	法人内研修「新任フォローアップ研修」	統括, 新任2名
11月2日	I F C A	直接処遇1名
11月5～7日	施設間交流研修「白十字会林間学校」	直接処遇1名
11月8日	養子縁組に関する研修会 2日目	里専1名
11月9日	管内研修会「第1回西湘地区虐待問題研修会」	園長, 直接処遇8名
11月9日	神奈川地区公文勉強会	直接処遇2名
11月26日	A S S主催「自立サポート研修」	統括
11月15日	神児研 「2～3年目フォローアップ研修」	直接処遇3名
12月10日	管内研修会「里親について」	直接処遇3名
12月13日	全国児童養護施設長研修会	統括
1月10日	基幹的職員研修会	主任2名
1月18日	箱根中学校PTA 広報研修	直接処遇1名
1月21日	神児研乳児部研修「乳児院の実践報告」	直接処遇2名
1月21日	管内研修会「第2回西湘地区虐待問題研修会」	園長, 統括, 直接処遇8名
1月25日	基幹的職員研修会 2日目	主任2名
1月30日	里親支援専門相談員研修	里専1名
1月31日	児童福祉フォーラム	直接処遇1名
2月4～5日	関プロ児童養護施設 事務研修会	事務員1名
2月15日	里親支援専門相談員研修 2日目	里専1名
2月18日	管内研修会「自立援助ホームの役割」	園長, 直接処遇1名

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	春の帰省 筍掘り お花見遠足	春休み 保育園入園式 小・中・高入学式 宮城野春祭り 小田原足柄地域メーデー招待
5	児童職員健康診断 職員親和会活動 施設内レク大会 消防署立会い訓練	小・中学校業務連絡会 金時マラソン 中学校環境整備・体育祭 強羅自治会春祭り ヨット招待
6	3児相との業務連絡会	中学校修学旅行 小学校林間学校 児童福祉施設 卓球大会 箱根町子ども会レク
7	真鶴海水浴 キャンプ	中学校三者面談 町内美化清掃活動 終業式 夏休み 野球交流会 保育園清掃奉仕 ユネッサン招待
8	夏の帰省 東京白百合学園白百合会交流 児童福祉施設 野球大会	中学校環境整備 通学路清掃 プロ野球観戦招待 強羅子ども会レク
9		始業式 マスの掴み捕り招待 中学校文化祭 箱根町合同防災訓練 小学校運動会
10	児童職員健康診断 園内ハロウィン	保育園運動会 宮城野子ども会球技大会 帝京科学大学文化祭招待 箱根町 ロードレース大会 ソフトバレー大会
11	お墓参り 七五三 児童養護施設駅伝大会	中学校通学路清掃 小学校修学旅行 箱根町交歓子ども会
12	もちつき クリスマス会 冬の帰省	終業式 冬休み 里親交流会 パルロン会 強羅自治会地区清掃
1	職員新年会 児童新年会 どんど焼き 送別マラソン大会	始業式
2	節分 あすなる作品展・交歓会 洗足学園音楽コンサート	
3	ひなまつり 卒園を祝う会	強羅子ども会歓送迎会 小・中・高卒業式
その他		
・各種予防接種（随時） ・誕生日会&バースデイ外出（随時）		・避難訓練（毎月）

事業報告書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

ドルカスベビーホーム

○ 全体の総括

昨年度返還を求められていた玄関前の駐車場は整地をされた後に再び使用できるようになった。昨年度購入した駐車場は擁壁工事を行ったが遊び場としての整備は進まなかった。定期点検で本体ボイラーの交換を勧められ実施した。

不幸な出来事が起きた 10 月から勤務体制の見直し、職員の養育の質の向上と平準化を図る為、各種マニュアルの検討を開始した。職員のメンタルヘルスにも更に力を入れた。養育職員を一人増員し、日中の養育の向上を検討したが勤務体制の見直しにより夜間帯の勤務に人手として組み込まれる事になった。

○ 取り組みの結果

1. 養育の質の向上・養育環境の整備

(1)10 月の出来事を踏まえ再発防止の為に、勤務体制の見直しを行った。宿直の拘束時間を減らし、休憩の時間を短時間にする事で夜間帯の人手を厚くし呼気チェックの徹底を図った。不備が出た場合にはその都度対応している。未だ検討する事が多く確立はできていない。ベビーセンサーなどの機器の導入を考えいくつかのサンプルを使用している。

夜間帯及び朝の人手が厚くなり、朝の養育の質の向上に繋がった。

(2) 親の要望に応え自由な面会を提供している。多い日では、面会者が 10 組を超えている。面会時のケアが必要な家庭も多いため特に週末は FSW または心理職員が勤務しより良い対応ができるようにしている。親子関係、職員との関係においても信頼を築く時間となっている。

家庭支援専門相談員を 2 名配置した事でアフターフォロー等、更に手厚い対応ができています。

2. 職員の意思疎通を図る

(1) 中間会議を日中グループ会議として行いグループ単位の話し合いを行う事でグループ内の養育について更に内容を深めた話し合いが行えるようになった。

職員全体の周知の場の回数が減った事で不便さがあり、回覧板の活用を開始した。また、リーダー会議を効率良く活用すべく内容の確認と検討を行った。

(2) アレルギー児や面会対応について会議にて随時話し合い連携を図った。

3. 子どもの権利擁護という視点での養育

(1) 「人権ヒヤリハット」「人権にやりホット」アンケートを継続実施し、日頃の養育の振り返りにつながっている。

4. 職員のメンタルヘルス

(1) 臨床心理学博士テリー先生による面接を月 1 回 3 名実施。第 3 者に相談できる場が職場内にあることでメンタルヘルスに繋がっている。

10 月の出来事を踏まえて、11 月から週 1 回実施、全職員が面接を受けた。心理職員と連携を密にして面接が必要と思われる職員のメンタルヘルスに努めた。

5. 里親・里子支援

(1) 里親委託後の相談やフォローを見相、CW と連携して共に取り組む機会が増えた。

6. 修繕及び整備内容

(1) 本体ボイラー交換

(2) 駐車場擁壁工事

○ 職員構成

平成31年3月31日現在

	施設長	家庭支援専門相談員	里親支援専門相談員	心理相談員	事務員	里親センター
常勤	1	2	1	1	1	1
非常勤						3

	看護師	保育士	児童指導員	栄養士	洗濯・掃除	嘱託医	合計
常勤	4	19(1)	5	5	0	0	40
非常勤	2	1			3	1	10

() は、うち育児休業中職員

○ 定員等

定員 25名 現員は下表

平成31年3月31日現在

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		合計
措置児	4名	7名	2名	1名		14名
一時保護児	2名	2名				4名
レスパイト						

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

- (1) 全国乳児福祉協議会の研修体系に基づいた人材育成を取り入れ、職員のレベルに合わせた研修に参加した。
- (2) 関ブロ主催の初任者職員のためのDVDが完成し発表の段階に入り参加した。
ただ読み上げるのではなく、自分の言葉として話すことの難しさを痛感し勉強になった。
- (3) 全体で勤務のマニュアルの見直しを行ったことにより、役割分担の見直しに繋がった。来年度、主に新任職員に向けたマニュアルの見直しを行う事になり新任・中堅・上級職員の幅広い経験年数の職員4名でチームを組んだ。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

	実施日	研修名	受講職員
法人	4/2	新任職員オリエンテーション (於ドルカス)	栗原・尾曲・中川・横山(美)
	4/23 ～4/24	新任職員研修	栗原・尾曲・中川・横山(美)
	11/2	新任職員フォローアップ (於県社協)	栗原・尾曲・中川・横山(美)
	9/11	中堅職員研修	春日・渡辺
院内研修	6/29	院内研修【笹田 哲氏】	27名
	8/17	院内研修【古川久美子氏】	30名
	11/21	院内研修【宮嶋里母・村井里母】	25名
	7/3	事例検討会	28名

(2)施設外研修

	実施日	研修名	受講職員
県内乳児院関係	7/13	合同研修(於県社協)【井上 真氏】	大貫・石橋
	11/29	合同研修(於県社協)【遠藤利彦氏】	川上・柏木・朝倉・井沼・井上
	9/27	事例勉強【竹内直樹氏】	藤井・川上・畑・清水・金木
	1/31	事例勉強【竹内直樹氏】	川上・清水・金木
	10/9 ～10/10	交流研修 (於相模原南児童ホーム)	朝倉
	10/16 ～10/17	交流研修 (於至誠館さくら乳児院)	石橋
神児研	4/27	4月研修	渡辺(美)
	5/17	乳児部研修 【彦坂康朗氏】	尾曲・中川・横山(美)
	6/28	新任研修	栗原・尾曲・中川・横山(美)
	7/19	中堅研修	菅原
	11/15	2～3年目対象フォローアップ (於 横浜)	石橋
	1/17	神児研研修会	川上・柏木・大牧・
全乳関係プロ	6/7 ～6/8	関プロ乳児院研究協議会 (於 水戸)	横山(紗) 朝倉
	7/24 ～7/26	全乳職員研修 (於 山梨)	大牧・田中
	10/11 ～10/12	全乳協議会 (於 三重)	渡辺(美)
	11/8 ～11/9	関プロ職員研修 (於 大宮)	川上・大貫
	11/27 ～11/29	上級職員セミナー (於全社協)	山口
	1/21 ～1/22	FSW 研修 (於全社協)	渡辺(美) 佐々木
子どもの虹	1/16 ～1/18	児童福祉施設指導者合同研修	畑
	1/29 ～2/1	乳児院職員指導者研修	高山
	2/13 ～2/15	児童福祉施設心理担当職員合同研修	金木
	3/5 ～3/6	テーマ別研修	藤井
その他	6/14 6/21	子ども虐待予防研修	春日 小林(志)
	7/3 7/10	子ども虐待予防研修	春日
	7/3 7/17	子ども虐待予防研修	小林(志)

	実施日	研修名	受講職員
	7/6	児童相談所等実務研修 (於療育相談センター)【青木 豊氏】	佐々木
	8/30	児童相談所等実務研修 (於療育相談センター)【田中 哲氏】	渡辺 佐々木
	9/3 ~9/5	家庭養育機能支援子育てワークショップ	木股
	10/18 11/7	児童福祉施設職員研修(人権研修) 新任 (於県社協)	北畠・大場
	10/25 12/12	児童福祉施設職員研修(人権研修) 中堅 (於県社協)	小林(美)
	1/10 1/25	基幹的職員研修	真島
	10/9 ~10/10	県社協 中堅職員・チームリーダー研修会(於県社協)	渡辺
	10/5 10/12	アレルギー研修	菅原 横山(美)
栄養士 関連	5/17	第2ブロック施設給食関係者研修会	横山(美)
	11/2	児童福祉施設協議会 調理関係者研修会	横山(美)・横山(紗)
	9/13 ~9/14	栄養士研修会	横山(紗) 横山(美)
	2/15	栄養士研修会	横山(紗) 横山(美)
里親 関連	4/26	養子縁組家庭支援について ペアホープ【ロング朋子氏】	渡辺(美)
	5/12 6/2	第1回里親登録前研修	渡辺(美)
	5/7	児童相談所等実務研修	渡辺(美)
	6/18	ひこばえ主催 真実告知サロン	渡辺(美)
	7/2	子育て講演会	渡辺(美)
	7/6	思春期サロン 社会的養護の子どもの思春期	渡辺(美)
	7/8	第64回関東甲信越静里親研究協議会 静岡大会	渡辺(美)
	7/15	施設で暮らす子どもの理解	渡辺(美)
	7/23	里親基礎研修	渡辺(美)・山口・設楽
	8/30	児童相談所等職員実務研修	渡辺(美) 佐々木
	9/1	ひこばえ主催	渡辺(美)
	9/7	ひこばえ主催 思春期サロン	渡辺(美)
	10/11 ~10/12	第68回全国乳児院協議会	渡辺(美)
	10/22	第5回里親研修会	渡辺(美)
	10/24	第2回支援者向け養子縁組に関する研修	渡辺(美)

実施日	研修名	受講職員	
	第1回目		
11/8	第2回支援者向け養子縁組に関する研修 第2回目	渡辺(美)	
1/9	ひこばえ主催 未就園児サロン 救急法	渡辺(美)	
1/26 ~1/27	県央すこやか会の会 新春宿泊研修	渡辺(美)	
1/30	里親支援専門相談員研修会 1回	渡辺(美)	
2/15	里親支援専門相談員研修会 2回	渡辺(美)	
3/27	北里大学周産期講習会	渡辺(美)	
心理 関 連	4/14	学ぼう!!いじめが終わる方程式【品田奈美氏】	金木
	10/19	心理士会研修【田中 哲氏】	金木
	2/4	心理士会研修【加藤 尚子氏】	金木
	週1回	横浜市立大学附属病院 児童精神科	金木

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	お花見・遠足・誕生日会・一泊旅行	
5	子どもの日の会・菖蒲湯・遠足・誕生会	
6	遠足・誕生会・お食い初め	地区バーベキュー
7	七夕会・遠足・お食い初め	地区盆踊り
8	スイカ割り・花火・誕生会	
9	お月見会・花火・お食い初め・遠足	
10	一泊旅行・ハロウィン・運動会・遠足・誕生会 芋ほり	地区運動会・ふれあい祭り
11	遠足・誕生会	
12	クリスマス会・冬至（柚湯）・遠足・誕生会	
1	元旦・初詣・遠足・誕生会	
2	節分豆まき・遠足・誕生会 お食い初め	
3	ひな祭り・遠足・誕生会	総合避難訓練（唐池と合同）
毎月恒例：防災訓練・身体測定・嘱託医健診		

事業報告

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

吉岡保育園

平成 30 年度 吉岡保育園 事業報告

- 本年度の運営にあたって
 - 1 4 月当初 0 歳児の入所希望者が、2 名と少なかったが、入所希望が徐々に増加し、年度末は、昨年と同じく定員を超えての園児数の受け入れとなり、当初の予算よりも給付費が増加した。
 - 2 長時間の保育児が多くなり、朝は保育補助員 1 名増員して対応した（綾瀬市単独補助の対象となる。）
 - 3 土止め工事で土手の部分が広がり、フェンスも張り巡らせ安全対策を行った。
- 本年度の取り組み
 - 1 保育指針改定に合わせて、保育内容の検討や研修に参加した。保育士のキャリアアップ研修は、対象者の研修を継続的に行った。
 - (1) 園内外の様々な研修に参加し、新保育士指針等についても研修会議等で読み合わせや、綾瀬市の保育会でも講師を招き理解を深め、職員全体で研修内容を共有できるように努めた。
 - 2 異年齢保育については、本年度より 2 つのクラスに分け、取り組みを始めた。
 - (1) 異年齢での活動での良かったところは、異年齢ならではの交流、思いやる心が多く見られた。異年齢のクラス担任を決めたことで、活動を把握しやすくなった。
反省点としては、意識的に 5 歳児の活動が主軸になってしまい、3, 4 歳児の活動がぼやけてしまった。年令ごとの活動に対しては、職員の意思疎通を図りながら役割分担を明確にすれば、スムーズな活動に成ると思われる。
 - 3 保育園のパンフレットの作成
 - (1) 環境の整備が整い、保育内容も更に整理されてきた。職員全体でアイデアを出し合い、パンフレットの資料を整えていきたい。
 - 4 今、国が進めている保育園、幼稚園の認定こども園化については、綾瀬市の政策としては今の所、計画がないとの事であるため、今後の動向を見て行きたい。
 - 5 学童保育について、保護者からの要望は根強くあるが、地域に放課後児童保育として、3 団体が活動を行っているため保育園としての事業については、現時点では必要ないとの綾瀬市の回答である。

○ 職員構成

平成 31 年 3 月 31 日現在

	施設長	主任 保育士	保育士	栄養士	調理師	用務員	嘱託医	その他
常勤	1	1	7	1				
非常勤			8	1		1	2	3

○ 定員等

平成 31 年 3 月 31 日現在

区分	0 才	1	2	3	4	5	合計
定員	6	8	10	12	12	12	60
人数	7	12	12	15	14	15	75

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組み

(1) 会議

- ア 月2回以上、以上児、未満児会議を行いケースや保育内容などの話し合いを行う。
- イ 月1回全体の行事予定会議やケースについて話し合った。
- ウ 月1回保育内容等の身近にある内容の研修会議を行った。

(2) 研修

- ア 園内研修として（非常勤も含）防犯、防災、救急救命、人権、事故防止等の研修や、就業規則の説明確認を非・常勤職員全員に行った。
絵本について講師を依頼し読み聞かせ方や絵本の知識の研修を行った。
- イ 施設外研修として、白峰センター主催研修、ポピンズ、（県、市）の保育会主催研修等や施設見学を行った。
- エ 法人研修に新任、中堅職員が参加し、法人の施設間がより身近になった。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施時期	実施内容	対象職員
4月	係分担、食育計画、避難訓練持ち出し役割、ヒヤリハット相互注意制度実施要領説明。評価・概要の説明。保育所保育指針読み合わせ	常勤・非常勤職員 常勤職員
5月	救急救命について（エピペン、救命法） 保育内容・「発達記録について（0歳児）」	常勤・非常勤職員 常勤職員
6月	事故、けがに対する対処 保育内容「排泄について（0歳児～）」 振り返り	常勤職員 "
7月	防犯について 保育内容「プール活動（水遊び、チェックリスト読み合わせ）」	常勤職員 "
8月	防犯について 保育内容「噛みつき、保育環境について」	常勤職員 "
9月	保育内容「絵本について、パソコン操作法」 振り返り	常勤職員
10月	保育内容「熱、下痢、感染症の対応」 H30年度保育内容の全体的計画の確認	常勤職員
11月	保育内容「パソコン操作について・アルバムについて」	常勤職員
12月	保育内容「研修報告」 振り返り	常勤職員
1月	保育内容「研修報告」 不審者対応	常勤職員
2月	保育内容「研修報告」 救急救命	常勤職員
3月	保育内容について 期、年間の振り返り	常勤職員 常勤・非常勤職員

(2) 施設外研修

実施時期	実施内容	対象職員
4月	神奈川県保育事業大会 唐池新任職員研修 県社会福祉協議会・新任職員研修	常勤職員 新任職員、園長
5月	給食担当者講習会	厨房職員
6月	県保育会新任保育士研修会 県社協保育協研修会・キャリアアップ研修 市保育会乳幼児救急救命中堅保育士講習 〃 中堅保育士市内施設見学	新任職員 園長 常勤職員 〃 〃
7月	保育会関東ブック研究大会 県保育会、白峰センター・キャリアアップ研修	常勤職員・園長 〃
8月	県保育会、白峰センター・キャリアアップ研修	常勤職員・園長
9月	県保育会、白峰センター・キャリアアップ研修 唐池学園・中堅職員研修	常勤職員・園長
10月		
11月	県保育会・キャリアアップ研修 市保育会保育事業大会 唐池学園・新任フォローアップ研修 認定こども園協会研修 こどものとも社	常勤職員・園長 〃 〃 主任・園長
12月	社会福祉協議会研究大会	常勤職員
1月	県社協合同研修会 キャリアアップ研修	常勤職員 〃
2月	ポピンズ・キャリアアップ研修 市保育会・新保育所指針研修 YMCA・子どもの運動に係る指導者研修	常勤職員・園長 〃 ・非常勤職員 常勤職員
3月		

30年度年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	・入園進級式(2日)★クラス懇談会まつ(20日) ・内科検診(10日)・歯科検診(19日) *誕生会・バイキング給食(26日) ●お弁当の日(6日)★クラス懇談会3.4才(27日) ・各種やさい種まき等始まり	
5	・新入園児家庭訪問 ・尿検査 ・避難訓練総合(17日) ●お弁当の日(18日) *誕生会・バイキング給食(24日)	※まつ組弘法山ハイキング(18日)
6	●お弁当の日(1日) ・虫歯予防のはなし(7日) ◎じゃが芋掘り・カレーパーティー(13日) *誕生会・バイキング給食(28日)	★以上児親子バス遠足(1日)
7	・プール開き・花火教室(2日) ・七夕まつり(6日)★夕涼み会(21日) *誕生会・バイキング給食(26日) ・まつ組藍染め(8/3日)	
8	・まつ組お泊り保育(24日) *誕生会・バイキング給食(30日)	
9	★引き渡し訓練(3日) *誕生会・バイキング給食(27日)	・まつ・さくら組こどもの杜(22日)
10	・内科検診(16日) *誕生会・バイキング給食(18日) ●お弁当の日(19日) ※リトミック公開保育(31日)	★わくわく広場(6日)予備日(8日) ※まつ・さくら組弘法山ハイキング(11/2日) ★うめ・りんご親子芋掘り
11	●お弁当の日(9日) ・野菜収穫・芋掘り(15日)・収穫祭(16日) *誕生会・バイキング給食(29日)	★まつ組親子大山登山(9日) ★ " 予備日(22日) ・さくら・もも組歩き遠足(9日)
12	●お弁当の日(7日) ◎発表会・父母の会交流会(16日) ・クリスマス会(25日)*誕生会(20日) ・もちつき(21日)・観劇・個人懇談会まつ組	
1	●お弁当の日(4日)・どんど焼き(10日) ★個人懇談会(除まつ) ・切り干し大根作り(11日)・味噌づくり(25日) *誕生会・バイキング給食(24日)	
2	・交通安全教室(8日)・豆まき(1日) ・避難訓練総合(1日)・防犯教室(15日) ・お店屋さんごっこ(21日) *誕生会・バイキング給食(22日) ●お弁当の日・手作りおやつバイキング(23日)	・マラソン大会(22日)
3	*ひな祭り誕生会(1日) ・お別れ会バイキング給食(14日) ★卒園式(16日)	・まつ組お別れ遠足(8日)
その他	保護者の参加 *…以上児のみの自由参加 ※対象クラス自由参加 ★…対象者全員参加 ◎…全員自由参加 ・…子どもの活動 ＜毎月1回＞・身体測定(20日)・リトミック・えいごであそぼう・避難訓練 ＜5月から随時＞・保育参加 <10~6月> ●お弁当の日 ＜毎週1回＞・園内開放 <年間4回>・つばみとの交流保育	

事業報告書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

つぼみ保育園

平成 30 年度 つばみ保育園 事業報告書

○ 全体の総括

「思いやり」を 30 年度の目標としていた。園長が代わり、戸惑いと職員間での意思の疎通、伝え合う事の難しさを感じた 1 年だった。法人の指導と子どもたちの笑顔、素直な姿に助けられた。子どもへの指導以上に、職員一同子どもから学びパワーをもらった。

小目標に①生き生き遊ぶ②豊かな心を持つ③元気な子どもを掲げ「たくましく生きる力」の育成を務めたいとしていた。1 年中半袖半ズボンで過ごしている。保護者の長ズボンの要望もあるので今後は検討が必要と考える。地域の方々との関わりで多くの事を学ぶ機会があった。

○ 取り組みの結果

- ・ 勤務表・業務日誌・職務分担表などを作成し、翌年度から活用できるように説明した。
- ・ 新しい園長の意思表示、翌年度の保育目標など職員に発表し、共に保育園運営をよりよくしていくために協力を依頼した。
- ・ 外部から新しい園長が入ることの難しさを感じている。法人も含め何度も話し合いの場がもたれた。課題は多くあるが、子ども目線・親目線の保育運営とは何か具体的に理解し、10 年先 100 年先のつばみ保育園がますます地域に愛され求められる保育園でいられるように選ばれる保育園を目指していきたい。
- ・ 長い歴史の中で出来たつばみの常識が少しずつ明確になってきた。世間の常識との違いを整理し、時代にあった保育園運営にしていきたい。
- ・ 職員間で平等ではない内容が明確になってきた。職員が求める平等を検討し、人間関係をよりよくしていきたい。
- ・ 職員の要望でパソコンを 2 台購入し、パソコンの台数を増やした。パソコンができない職員もいるので、全職員のスキルをあげていきたい。

○ 職員構成

平成 31 年 3 月 31 日現在

	施設長	主任保育士	保育士	栄養士	調理師	看護師	事務	その他
常勤	1	2	14	1	1	0	0	0
非常勤	0	0	8	0	1	1	1	0

嘱託医 茂木医師(内科) 桜井医師(歯科)

○ 定員等

平成 31 年 3 月 31 日現在

区分	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定員	10	20	20	20	20	20	110
入所数	12	22	22	27	21	24	128

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 会議

- ・ 以上児・未満児・給食関係（離乳食・アレルギー）会議・全体会議と行ってきた。結果が出ないまま時間が長い会議の進行を改善すべき取り組みをしたことで、全体会議（ケース会議）が、午後20時前には終わるようになった。今後は会議の内容を整理していきたい。

(2) 研修

- ・ キャリアパス研修、保育会等の研修に多くの職員が参加をしたが、研修内容を報告・検討することがなく現場に活かされないままになっている。研修報告の仕方とつぼみ保育園で活かすために、どのように取り入れていくか時間を含め考えていきたい。
- ・ キャリアパス研修にこだわらず、保育士の資質向上につながる研修参加をすすめていきたい。
- ・ 他の施設、他の保育園の子どもへの関わり・広い視野と園運営を学べる機会を取り入れていきたい。
- ・ 園内研修で、防犯・防災・心肺蘇生法・消火訓練などの研修を行った。お子さんをあずかる立場として大事な研修と考える。今後も取り入れていきたい。
- ・ 施設外研修、キャリアアップ研修と職員が研修に参加するため行事でも保育園にいないことが多かった。園の行事と研修参加との兼ね合いを検討したい。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/18	綾瀬小学校1年生授業参観	木村・桃崎
5/24	リズム 和泉短期大学山本先生	年長職員・各クラス代表
6/19	AED心肺蘇生法（綾瀬市消防署）	職員
7/2	綾瀬小学校授業参観	刈岡・加藤
7/3	綾瀬小学校学習発表会	藤原・鈴木
7/4	落合小学校授業参観	山田・加瀬
10/15	防災訓練	全職員
11/21	消火訓練	全職員
4月～3月	松、桜テニス教室 楽器指導 お茶教室	松、桜園児と担任他 松・園児と担任 松・園児と担任

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/7	県社協主催新任犬種激励会	緑
4/23~4/27	法人新任職員研修	緑・藤岡
5/10	厚木保健福祉課主催特定給食施設講習会	増田
5/10	山ゆりの会グループ研修会	藤岡
6/5	保育協議会行政説明・研修	藤岡
6/8	算定基礎届事務説明会	藤岡
6/15・1/21	給食施設栄養管理講習会	増田・吉田
6/21	保育会主催・中堅保育士研修視察	湊岡・藤岡
6/26	県主催保育園・認定こども園の安全対策	藤原・湊岡
6/26	保育会主催・普通救命講習	桃崎・原田
7/6	綾瀬市保育会主催中堅保育士研修(乳幼児の遊び)	常勤保育士・松本・鈴木・藤岡
7/11	神奈川県医師会主催医部会県域地区研修会	藤岡
7/17	綾瀬市保育会主催主任等研修	山田・湊岡・藤岡
7/7・7/10・7/27	ポピンズ保健衛生・安全対策	増田
7/9・24・25	ポピンズ障害児研修	牛王
8/1・28・9/10	ポピンズ障害児保育	原田
9/27・10/2・10/11	ポピンズ障害児保育	佐々木
8/29	県保育会保育の質の向上の為の取り組み	原田
9/21	県保育会保育環境を考える(子どもの遊び①)	原田
10/11・11/20・29	ポピンズ、マネジメント	吉田
10/30	県保育会苦情解決の仕組み	増田・湊岡
11/14	県保育会保育環境を考える(子どもの遊び②)	原田
10/12	厚木保健福祉事務所食物アレルギー児に対する給食提供	増田
11/6・20・27	ポピンズ保育実践	加藤
11/28	県保育会組織マネジメント	湊岡
12/6	県保育会保育前夜祭	藤岡
12/5・13・14	ポピンズマネジメント	木村
1/11・26・2/9	ポピンズ食育アレルギー	相馬
1/11・26・2/9	ポピンズ保育実践	桃崎
2/4・23・25	ポピンズ保育実践	加藤
2/28・3/6・11	ポピンズ食育・アレルギー	吉田
2/5・3/4・8	ポピンズ障害児保育	桃崎
2/12・20	綾瀬市保育会研修(新保育指針)	全職員

○ 年間行事報告

月	行事内容	
	施設内	施設外
4	入園,進級式・内科検診・保護者会総会・年長懇談会・2歳児懇談会	
5	交通安全指導・年長尿検査・1歳児懇談会	
6	運動会リハーサル・運動会・3歳児クッキング	運動会(綾瀬小学校)体育館
7	プール開き・花火指導・5歳児消防クラブ員任命式七夕誕生会・5歳児園内キャンプ・5歳児お泊り保育・すいか割・	5歳児キャンプ(小学生参加)
8		社協・中高学生保育体験
9	防災、引き渡し訓練・年長ポディーペンティング・保護者会総会	さがみ野ホーム敬老会訪問4・5歳児
10	内科健診・歯科検診・5歳児クッキング・お店屋さんごっこ・防犯訓練・職員健康診断	年長親子バス遠足・柿もぎ取り・ハロウィン参加
11	ルピナスの学生さんとの交流・保護者会主催お楽しみ会(ふわふわドーム・大道芸)・あやせ消防フェスティバル5歳参加・梅組尿検査・防犯訓練・ブリ解体・2歳児クッキング・発表会リハーサル	5歳児吉岡の収穫祭に参加・2歳児親子遠足(こどもの杜)
12	発表会・お餅つき・クリスマス会	発表会リハーサル(文化会館)・発表会
1	郵便屋さんごっこ・5歳児お茶教室初釜・どんど焼き・焼き芋・1歳児クッキング・0歳児懇談会・お菓子バイキング	
2	節分・交通安全教室・給食バイキング(5歳児希望献立)・3歳児クッキング・4歳児お茶教室・1歳児懇談会・煙体験・3歳児クラス懇談会・4歳児懇談会・2歳児クラス懇談会・5歳お泊り保育(こどもの杜)	5歳児お泊り保育(こどもの杜)・5歳児吉岡保育園との交流・消火訓練、煙体験・新入園児面接
3	ひなまつり誕生会・5歳親子お茶会・4歳児クッキング・5歳児クッキング・5歳児と職員お別れお茶会・1,2歳児お別れ遠足・卒園式・保護者役員会	道志会訪問・綾瀬小学生との交流・さがみ野ホーム訪問
<p>その他</p> <p>【毎月1回】— 身体測定・避難訓練・誕生会・</p> <p>【5月～3月保護者希望日】— 保護者保育士体験</p> <p>【4月～6月、9月～3月の月1日】— お弁当の日</p> <p>【月数回】— お茶教室(駒崎先生)・テニス教室(小田急テニス教室)</p> <p>・楽器指導(堀一先生)・園庭開放(サロン)・吉岡交流・基地チャイルドセンター交流</p>		

事業報告書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

貴志園

総務部門

生活支援部門（カビーナ・コペルタ貴志園）

カビーナ貴志園（施設入所支援・生活介護事業）

コペルタ貴志園（就労継続B型事業・生活介護事業・
就労移行支援事業）

生活支援部門（マール貴志園）

ホーム貴志園（地域生活援助事業）

相談センターゆいまる（相談支援事業）

在宅支援部門（にじいろ貴志園）

にじいろ（放課後等デイサービス事業）

平成 30 年度 貴志園 事業報告書

○ 全体の総括

安定した事業運営を行うため、職務職制や各規定に基づいた業務遂行、長年積み重ねてきた支援の考え方や技術、園の基本方針を理解やキャリアパスに応じて職員育成を積極的に取り組んできた。これらが浸透していくには時間がかかることだが、組織を通して、また先輩から後輩へ引き継がれることで循環していくことが良い状態の維持へとつながっていくものであり、そのための風土をつくって行くことに力を入れていく。

○ 取り組みの結果

地域生活部門では、めくじりホームの改築を進めてきたが、改築できる状況でないことが分かり、移転先の検討を進めてきた結果、新たに土地を購入するなどしてグループホームを新築することとなった。

生活支援部門では、法改正に伴い新たに就労定着支援事業を開設した。園内での作業支援を通して働くことへの動機、そして就労希望者に対しての就労支援、就労後の安定した就労環境を維持するための就労定着支援といった一連の流れが整うこととなり、一定の成果がでている。また、情緒の安定や軽作業、食品事業とも関連して農作業も始めたが、継続して進めることができた。

在宅支援部門では、身体障害者の受入を検討し、1名が定期利用することとなった。事業の拡大も考えたが、新規事業者の参入によって利用対象者が見込めないことが想定されたため、次年度は2名程度の利用とし、今後はにじいろを卒業した利用者の利用が利用できる環境整備を検討していく。

○ 職員構成

平成31年3月31日現在

	施設長	課長	係長	支援員	栄養士	看護師	調理員
常勤	4	4	5	16	2	1	0
非常勤				44		1	1

	事務員	合計
常勤	1	33
非常勤	2	48

○ 定員等

平成31年3月31日現在

名称	カピーナ		コベルタ				第二椿	宮久保	にじいろ
	施設入所	短期入所	生活介護	就労B	就移行	就定着	共同生活介護	放DS	
定員	30	4	23	11	6	—	17	13	10
現員	30	1	26	12	4	8	17	13	28
定員外			3	1					10
合計	30	1	23+3	11+1	6+2	8	17	13	10+18

○ 人材育成

1 研修実績報告

貴志園では下図のとおり、施設（法人）で企画運営して実施している研修と外部機関等が実施している研修へ派遣する形で研修機会の確保を行っている。

施設内研修については研修委員会が企画運営を行うもの、部署単位で実施するもの、研修参加者が企画をする研修と多様性を確保し、知識技術の向上だけでなく部署横断的な人材交流促進も図っている。

施設外研修については「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」で定められた法定研修と貴志園のキャリアパス制度に基づく階層別研修、職員が自らの専門性向上を目的とし、研修選定から企画する自主研修とに大別される。いずれについても研修後は復命書の提出等により、日々の支援実践に活かされるような工夫を行っている。

(1) 内部研修

研修日	研修内容	受講職員
4月23日、24日	法人新任職員研修	新人職員
5月28日	貴志園新人職員研修	新人職員
6月16日、10月20日、 31年2月16日	貴志園全体研修	全職員対象
7月20日、9月28日、 31年1月18日	接遇研修	採用二年目までの常勤職員
30年4月～31年3月 (8月、3月は開催なし)	ケース検討会	全職員対象
その他	非常勤研修・期間職研修	各部署単位×2回

(2) 外部研修

研修日	研修内容	人数
(入所)		
4月4日	報酬改定説明会	1
7月1日	院内トリアージの導入・教育と隠れた重症の見抜き方	1
7月12日	モチベーションマネジメント研修	1
7月12日、13日	関東地区知的障害福祉関係職員大会	1
8月2日、3日	基礎から学ぶ発達障害・知的障害	1
8月4日	看護師の為のストレスチェック養成研修	1
8月8日、9日	不器用さへの理解と指導	1
8月9日、10日	てんかん基礎講座	1
8月25日	障害者の性（基礎研修）	1
11月26日、27日、28日	インターンシップ研修	1
12月9日	認知症患者の支援に対する心理的貢献	1
2月2日	神奈川リハビリテーション ケアフォーラム	1
2月14日	非行犯罪行為に至った知的障害者を支援し続けるための研修	1
2月14日、22日、23日	対人援助研修	1
3月17日	行動科学に基づいたアセスメントと問題解決	1
3月22日	アセスメント研修	1
3月29日	アサーティブコミュニケーション	1
小計		17人
(通所)		
5月10日、17日	特定給食施設全体講習会	2
6月21日	病院・介護保険施設・社会福祉施設・栄養士連絡会	1
6月25日	アンガーマネジメントについて	1
8月22日、23日	中堅職員キャリアパス研修	1
11月6日、7日、27日、28日	行動援護従事者養成研修	1
11月13日	合理的配慮について	1
11月28日、29日	防火管理者講習	1
12月2日	食生活改善における野菜の力、セミナー	1
1月13日、14日	SST ファーストレベル研修	1
2月1日	苦情解決研修	1

研修日	研修内容	人数
2月26日	食品衛生法等の研修	1
3月9日	栄養士会実践研究大会	1
小計		13人
(グループホーム)		
6月4日	支援スタッフ部会	1
6月7日、8日	管理職員キャリアパス生涯研修	1
6月18日	安全運転管理者講習会	1
6月25日	障害者支援におけるアンガーマネジメントと虐待	1
7月20日	支援スタッフ部会	1
8月1日	苦情解決研修	1
8月2日、3日	基礎から学ぶ発達・知的障害(領域別の指導と実際)	1
8月27日、29日、31日	障害者生活支援の施設実務研修	1
9月4日、11日	神奈川らくらく介護研修	1
9月7日	対人コミュニケーションの基本	1
9月21日	支援スタッフ部会	1
10月6日、7日	SSTファーストレベル研修会	1
10月10日	国際福祉機器展	1
10月25日	障害者グループホーム職員研修	1
10月25日	利用者から見た意思決定支援	1
11月26日、27日、28日	インターンシップ研修	1
11月30日	支援スタッフ部会	1
1月15日、16日	リーダー養成ゼミナール修了生フォローアップ研修会	1
1月17日	支援スタッフ部会	1
1月24日	総合医療展	1
1月25日	発達障害の支援のためのアセスメント	1
2月14日	ダイアログ(対話)アプローチ	1
2月25日	退院後生活環境相談員及び地域援助事業者等研修	1
小計		23人
(ゆいま〜る)		
6月26日、27日	相談支援プレ研修	1
7月2日、3日	全国知的障害関係施設長会議	2
7月18日、19日	相談支援従事者初任者研修	1

研修日	研修内容	人数
7月25日	新任職員人権研修	1
8月28日、29日	相談支援従事者初任者研修	1
9月21日	ペアレント・トレーニングの活用	1
10月3日、11月20、21日	相談支援従事者初任者研修	1
10月10日、11日	相談支援、就業支援セミナー	1
10月17日	認定調査研修	2
10月17日、11月15日 12月11日、1月16日	相談支援従事者現任研修	1
11月23日	医療的ケア児等支援者養成研修	1
12月3日、4日	精神障害者支援の障害特性と支援技法	1
2月1日	苦情解決研修	1
2月25日	地域包括ケアシステムの構築と空き家の活用	1
小計		16人
(にじいろ)		
8月2日	小児訪問看護、重症心身障害児者看護研修	1
9月11日	中堅職員研修	1
9月20日	小児訪問看護、重症心身障害児者看護研修	1
10月17日、11月15日 12月11日、1月16日	相談支援従事者現任研修	1
11月17日	障害特性からはじめる支援	1
3月19日	プレリーダー研修	1
小計		6人
(総務部)		
8月2日、3日	行動の問題の見方と対応の実際	1
10月4日	事務研修部会	1
10月8日	こころを元気にする10のヒント	1
11月8日、9日	コーチング研修	1
11月30日	チームワーク及びコミュニケーション力、向上研修	1
12月21日、22日	全国相談支援ネットワーク研修会	1
小計		6人
合計		81人